

## 「通訳ボランティアレベルアップ講座～DV被害者を通訳として支援する～」を開催しました

協会では、通訳・翻訳ボランティア向けの講座として、毎年入門講座とレベルアップ講座を開催しています。今年度のレベルアップ講座は、協会主催の法律相談で昨年最も相談が多かったDVをテーマに開催しました（入門講座は9月に終了）。

DVに関わる相談は、加害者から避難しなければいけない、離婚したいが怖くて言えないなど、法的な支援が必要なケースが多く、通訳者も専門的な知識が必要となります。そこで講座では、DVについての法的知識や、対応するときに気をつけることなどの講義に加えて、事前にDV支援で必要だと思われる言葉などの下調べをしていた上で、ロールプレイに参加していただきました。

■ 実施日：平成27年1月29日(木) 10:00～16:00

■ 会場：県浦和合同庁舎 5階 第5会議室

■ 参加費：3,000円（協会個人賛助会員 1,000円）

■ 受講者：34人

（英語 17人、中国語 11人、スペイン語 5人、韓国・朝鮮語 1人）

■ スケジュール：

時間	内容	講師等
10:00～10:15	挨拶、ボランティア制度の説明	埼玉県国際交流協会（SIA）
10:15～11:15	【講義①】 「相談から保護までの流れ」	埼玉県婦人相談センター DV相談担当 寺中玲子 氏
11:30～12:30	【講義②】 「DV被害者支援に必要な法律の知識」	埼玉弁護士会外国人 인권センター 運営委員会委員 坂下裕一 氏
休憩（60）		
13:30～13:45	ロールプレイの説明	埼玉県国際交流協会（SIA）
13:50～15:00	【ロールプレイ】 言語別に分かれてロールプレイ	DV被害者が法律相談を受ける現場を 想定して、実際に通訳を体験しました。
15:15～16:00	ロールプレイ振り返り	埼玉県国際交流協会（SIA）

■ アンケート：

- ・今回はロールプレイを通じて、たくさんのことを学ぶことができました。自分の知識不足の部分をこれからの勉強で補っていきたいと思います。（30代 女性）
- ・仕事でもDV支援に携わっているので下調べをあまりしませんでした。やはり下調べはしていくべきと感じました。（40代 女性）
- ・ボランティアとはいえ、こちら側も準備などやるべきことをして責任を持って通訳をしなければいけないと思った。ロールプレイでは他の参加者の方々や、弁護士、被害者役（ネイティブスピーカー）の方々のコメントがとても参考になった。（40代 女性）

## ■ 会場の様子



埼玉弁護士会の坂下弁護士。DV被害者を守るための法律などについて説明していただきました。



ロールプレイが終わって、相談者役のネイティブスピーカーからアドバイスを受けている受講者。



ロールプレイ終了後に、弁護士役（経験の多い通訳ボランティア）とネイティブスピーカーが全体にシェアしたいことなどを発表しました。写真は中国出身の受講者が感想を話しているところ。